

# 社会科の調査活動の結果を新聞形式にまとめるための方法について

実践校第2年次 小布施町立小布施中学校 玉井広観

## 1 本校のNIEの現状

本校は2007年の4月からNIEの実践指定校になり、今年是指定2年目でした。昨年、3年の公民の政治分野の「国会の仕事」の例として、「新テロ対策特別措置法」について、新聞を使って調査し、賛成・反対の社説を参考に生徒に意見を持たせ、討論をしました。本年は指定校2年目ということで、6月に1年の社会科歴史で、中野市の柳沢遺跡発掘の記事を資料にして、「弥生時代」について考えさせる授業を行いました。また、11月には社会科地理の「身近な地域～小布施町の調査～」で、調査結果を新聞にまとめ、下書きを発表しあう場面で授業を行いました。特に身近な地域の調査では、生徒は意欲的に調査し、新聞にまとめていました。

昨年に引き続き、新聞を保健室前のロビーに置き、生徒が自由に読めるようにしました。休み時間等、けっこう新聞を読んでいる生徒の姿が見られました。また、教師のなかにも道徳や講話で新聞記事を使うことが、増えました。この2年間、指定校になったことで、生徒・職員とも新聞に対する意識が高まったと思います。

## 2 NIEで高めたい力

- ・新聞をはじめとする文章の読解力
- ・ニュースをはじめとする社会事象に関心を持つこと。
- ・新聞には様々なことが載っているので、調査活動に使用して、調べる力をつける。
- ・新聞を参考に、社会事象に対する思考力・批判力ををつけさせる。
- ・新聞を参考に自分の意見を持たせる。

## 3 研究の概要

### (1) 実践した教科等

- ・社会科

### (2) 新聞の提供状況

- ・保健室前の机の上に置き、休み時間等、生徒が自由に見られるようにした。
- ・新聞は、新聞の提供期間中は保存しておいた。

### (3) 新聞を取り入れた授業をする上で特に工夫をしたこと

- ・新聞記事はそのままでは難しい点があるので、教師が必要な箇所を指示したり、指定して与えた。(6月の1年歴史、「中野市の柳沢遺跡発掘」の記事を資料として)
- ・生徒が驚きを持てるような新聞記事を使用した(6月の1年歴史、「中野市の柳沢遺跡発掘」の記事を資料として)。
- ・新聞の、調べた事やわかった事実や感動を伝えるという特性を利用した新聞作り(「身近な地域の調査」の結果を新聞にまとめる)

## 4 具体的実践の紹介(下記5の実践以外の実践)

- ・1年社会科歴史歴史的分野の小単元「文明の起こりと日本の成り立ち」で、人類の出現～古墳時代まで学ぶ中で、弥生時代を学ぶ場面で、昨年10月に中野市の柳沢遺跡から7本の銅戈と銅鐸の破片が同時に出土した事実を取りあげた新聞記事から、「小布施に近い中野市は、弥生時代、どんな所だったのだろうか」を考えさせた授業。

## 5 実践学級の単元学習の報告

### (1) 単元に行きつくまで

昨年の3年公民「新テロ対策特別措置法」の授業・今年6月の1年歴史「中野市柳沢遺跡」の授業は、新聞を資料として使うという立場だったが、今年11月の1年地理の授業では、新聞の、事実や驚きを伝えるという特性を生かしての新聞作りを考えた。どの単元で新聞作りを行うかですばいぶん迷ったが、生徒が自ら調査を行いその感動の結果を伝えるのに最も適した単元は、1年地理の「身近な地域～小布施町の調査」であると考え、この単元を選んだ。

### (2) つけたい力の決め出し

#### A 社会的な事象への関心・意欲・態度

- a 日頃の新報から小布施町に関する記事をスクラップすることができる。
- b 小布施町に関する自分なりの調査テーマを設定することができる。
- c 自分のテーマを意欲的に調査することができる。
- d 班内でアドバイスをするとき積極的に発言できたか。

#### B 社会的な思考・判断

- a 自分のテーマについて、どこへ聞き取りに行ったら良いか、何を調べれば良いかが分かる。
- b 調査結果から、自分の調査テーマに対する解決を導き出すことができる。

#### C 資料活用の技能・表現

- a 二万五千分の一地形図を読み取り、利用することができる。
- b 自分のテーマを解決するために、主体的に調査活動を行うことができる。
- c 調査活動の結果を新聞の形にうまくまとめることができる。
- d まとめた結果を発表することができる。
- e 小布施町の魅力を新聞で伝えることができる。

#### D 社会事象についての知識・理解

- a 二万五千分の一地形図の読み取り方がわかる。
- b 身近な地域の調査方法がわかる。

### (3) 新聞を扱う上での創意工夫

「身近な地域の調査」は、自分が住んでいる小布施町の調査を行うということで、自分が直接聞き取りをしたり、実際に自分の目で見て調査できるという利点がある。都道府県や世界の国々の調

査ではそれがなかなか不可能である。また、社会科の中で、自分が身近な地域である小布施町に関するテーマを決めて、自ら調査活動ができる、数少ない単元である。さらにNIE（新聞を使った授業）の観点から、「身近な地域の調査」を行うにあたって、信濃毎日新聞などの「北信の話題」に載る、「小布施町に関する記事」をスクラップして、小布施町についての興味を喚起したり、小布施町の調査のまとめで、自分の課題を調べた結果を新聞の形にまとめ、発表することができる。せっかくの新聞作りなので、単なる調査結果のまとめに終わらず、「小布施町の魅力を伝えよう」ということで調査結果を盛り込んだ、小布施町紹介の新聞を作成させる。生徒たちはこのことにより、郷土小布施に対する愛着も深まると思う。

そこで、本単元では、生徒の野外調査（特に聞き取り調査）を重視することにした。野外調査はインターネットとは違い、生徒が自分の目で見て聞くことができる。野外調査は社会科の時間ではなかなかとれないので、総合的な学習の時間を2時間利用させてもらい、生徒の調査の時間を確保することにした。

(4) 単元展開

単元名 「さまざまな地域の調査」

小単元 「身近な地域～小布施町～を調べよう 小布施町の魅力を紹介する新聞を作ろう」

①単元のねらい

自分が住んでいる「身近な地域小布施」について、身近な地域の調査方法を学んだ生徒たちが、自ら小布施町に関する調査のテーマを決め、自分で直接聞き取りや調査活動を行い、自分のテーマの調査結果をふまえて、小布施町の魅力を新聞の形にまとめて、発表することができる。

②単元展開

時間	学習活動・予想される生徒の反応	指導・助言 資料・評価
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">小布施町の調査をどのように行うのだろうか</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な地域の学習の仕方について知る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域のテーマ（課題）の決め方と例を知る。</li> <li>課題の例                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境</li> <li>・人口</li> <li>・生活・文化</li> <li>・産業（農業・工業・商業・環境 等）</li> </ul> </li> <li>・身近な地域の調査方法を知る。                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・野外観察</li> <li>・聞き取り調査</li> <li>・文献調査</li> <li>・新旧の地図による調査等</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○身近な地域のまとめ方と発表の仕方について知る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果を新聞形式にまとめることを知る。</li> <li>・まとめたことを発表することを知る。</li> </ul> </li> <li>○次時からは、調査資料としての、地図の読み方や、グラフの作り方を学ぶことを知る。</li> <li>○小布施に関する新聞記事を、地理のノートにスクラップしていくことを知る。</li> </ul>	<p>教科書の「身近な地域」のところを参考に、テーマ（課題）の例と調査方法を指導する。</p> <p>特に聞き取り調査を重視することを述べる。 調査結果の新聞形式のまとめ方を説明する。 作成した新聞を発表することを述べる。 ・これから小布施町について、調査を行うので新聞を見て、小布施に関する記事を、地理のノートにスクラップしていくように述べる。 D - b</p>
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">二万五千分の一の地形図はどのようにみるのだろうか</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">小布施町は二万五千分の一の地形図ではどのように表されているのだろうか</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">二万五千分の一の地形図は小布施町の調査にどのように生かせるのだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○二万五千分の一の地形図の見方を知る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・十六方位を知る</li> <li>・地図記号を知る</li> <li>・小布施町の土地利用は何が多いか、地図から知る。</li> <li>・縮尺とは何か</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土地理院 二万五千分の一地形図 「中野西部」</li> <li>・地理資料ワーク（帝国書院） P 2 4 ～ P 2 7</li> <li>C - a</li> <li>D - a</li> </ul>

	<p>地図上で中学校から自分の家までの道のりを糸でたどり、縮尺から実際の距離を求める。</p>	
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>二万五千分の一の地形図はどのようにみるのだろうか</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>小布施町は二万五千分の一の地形図ではどのように表されているのだろうか</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>二万五千分の一の地形図は小布施町の調査にどのように生かせるのだろうか</p> </div> <p>○二万五千分の一の地形図の見方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小布施町の境界を赤でたどる。</li> <li>・等高線について知る。 350mと400mの等高線を赤でたどる。</li> <li>・新旧の地図の比較の仕方</li> </ul>	<p>国土地理院 二万五千分の一地形図 「中野西部」 ・地理資料ワーク（帝国書院） P 26・P 28・P 29 C - a D - a</p>
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>グラフ（統計資料）にはどんな種類があるのだろうか</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>調査活動やまとめにグラフ（統計資料）はどのように生かせるのだろうか</p> </div> <p>○グラフの作成の仕方や統計地図の作製の仕方・読み取り方を学ぶ。</p>	<p>・地理資料ワーク（帝国書院） P 30～P 32</p>
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>小布施町の特徴や魅力は何だろう</p> </div> <p>○小布施町の特徴や魅力は何か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・果樹（りんご・ぶどう・栗）と栗菓子と北斎</li> <li>・観光客が多い。</li> </ul> <p>○提示された資料により、自分の調査課題をつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>小布施町はなぜ果樹（りんご・巨峰・栗）の生産量が多いのだろう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>小布施町は近隣の市町村に比べて、なぜ観光客が多いのだろう。</p> </div> <p>・小布施町の調査の自分のテーマを決め、調査計画を立てる。</p> <p>・資料を見て、小布施町の特徴は何か捉え、小布施町の特徴に関わる自分の課題を持つ。</p> <p>○課題の予想をする</p> <p>○調査計画と、どんなことを調査するのか考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小布施町の果樹栽培は、どんなものが盛んなのか（生産している場所・種類・年間生産量・どんな果樹の栽培が多いのか・なぜ小布施は果樹栽培が盛んなのか）</li> <li>・小布施町に観光客が多いのはなぜか（小布施町の年間観光客の数・観光客は小布施町のどこを訪れるのか・小布施町の魅力は何か）</li> <li>・小布施は栗菓子が有名だが、なぜなのか（小布施の栗菓子の生産量は？・小布施の栗はいつ頃から作られるようになったのか・小布施の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小布施町の特徴や魅力を考えさせる。</li> <li>・以下の資料を提示する。 ①りんご・巨峰・栗の市町村別生産量・順位・作付け面積 ②りんご・巨峰・栗の全国上位5位の市町村 ③小布施町の年間の観光客数（周辺の市町村と比較した数字） ④二万五千分の一の地図から小布施町の土地利用は果樹園が多いことを読み取る。</li> <li>・30人30通りのテーマが出たのでは、指導しきれないので、小布施町の2つの特徴をつかませるべく、上記の資料を示し、2つのうち、どちらかの課題をつかませ、その中から自分の課題に沿った調査項目を出させ、調査させる。</li> <li>・場合によっては具体的な調査項目をこちらで示す。</li> <li>A - b</li> <li>・いつ、どこへ、誰に聞きに行くのか、きちんとした調査計画を立てさせる。</li> <li>（調査は、11月13日（木）の総合の時間等に行くので、事前にアポイントをとらせておく。）</li> <li>B - a C - b</li> </ul>

	<p>栗菓子<small>（栗を原料にしているのか・栗菓子の店はどれくらいあるのだろうか）</small></p> <p>・小布施町の土地利用はどのようになっているのだろうか  <small>（住宅が多いのはどこか・果樹園が多いのはどこか・水田が多いのはどこか（これらは分布図を作るとよい）</small>      ※これは難しいかもしれない</p> <p>○調査計画を立てる      いつ、どこへ、何を聞きに行くのか、計画を立てる。      小布施町は、自分の足で歩いて調査が行えるので、      野外調査（聞き取り調査）を中心に行う。自分で店や農協、農家などへ行き、聞き取りをする。また、観光客の様子などを、自分の目で見て確かめたり、調査をする。      さらに、自分で役場などへ行き、調査をする。 ・調査で大切なこと      ①聞き取りに行く時は、必ず「いつ、どんな事を聞くために訪問するのか」というアポイントを取ってから行くこと。必ず、相手の都合を聞くこと。      ②質問の答えは、必ずノートにメモして来ること。      ③二万五千分の一の地図を必要があれば利用する。  <small>（地図からは、土地利用、土地の高さなど、様々なことがわかる。）</small></p>	
6	<p>○新聞形式のまとめ方を知る</p> <p>新聞にまとめるためには、何が大切なのだろうか。</p> <p>・割付の仕方を知る。      ・新聞には統計（グラフ）や絵か写真を必ず一つは入れることを知る。      ・自分の課題に対する聞き取りの結果を必ず入れることを知る。（自分の課題は何で、聞き取りなどの野外調査によって何がわかったのか）</p> <p><b>新聞に必ず盛り込むこと</b>  <b>自分の課題・課題に対する予想・調査結果・わかったこと・小布施町の魅力</b></p> <p>どんな新聞を作ったら小布施町の魅力を伝えられるのだろうか</p> <p>・新聞は人に伝えるものだから、人にわかるように書かなければならないことを知る。</p>	<p>・新聞のまとめで大切なことを述べる。      ・ただ調査結果をまとめるだけでなく、小布施町の魅力を伝える新聞を作ることが大切だと述べる。</p>
7	<p>○調査計画をきちんと立て、自分の課題（テーマ）についての調査活動を行う。（休みの日も利用する）      課題→予想→疑問→調査→わかったこと      調査結果をノートに記入する。      ・総合的な学習の時間も利用させてもらう（11月13日（木）の5・6時間目）</p> <p>小布施町はなぜ、りんご・巨峰・栗の生産が多いのだろうか。</p> <p>りんごやブドウ      ・気候が適しているから。      ・土地があっているから。      ・松川の扇状地で水はけがいいから。      ・もうかるから。      栗      ・栗菓子の店へ持っていくと売れるから。      ・栗はりんごや巨峰に比べると、栽培に手間がかからないから。</p> <p>・りんご・巨峰・栗の栽培農家へ聞き取りに行くだろう。</p>	<p>・調査計画をきちんと立てさせ、事前にアポイントも取らせて、聞き取りに行かせる。（総合的な学習の時間も利用して）      A-c</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小布施町役場農政課、JA須高小布施支所へ聞き取りに行くだろう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>小布施町は、近隣の市町村に比べて、なぜ観光客が多いのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北斎館（葛飾北斎の本物の版画や肉筆画がある）や岩松院（本堂に北斎作と言われる鳳凰の天井絵がある・福島正則の廟がある。配流されていたのは隣の高山村）・高井鴻山（江戸時代後期、葛飾北斎を江戸から招いた豪農）の屋敷跡があるから。</li> <li>・櫻井甘精堂・小布施堂・竹風堂などの栗菓子屋があるから。（都会人には小布施の栗菓子が有名らしい）</li> <li>・北斎館から櫻井甘精堂にかけての何となく古そうな町並みや、通りが雰囲気があっいいから。</li> <li>・北斎館・岩松院・栗菓子屋へ聞き取りに行くだろう。</li> <li>・小布施町役場観光課・町並み研究所（東京理科大学）へ聞き取りに行くだろう。</li> </ul>	
8	<p>○調査結果のまとめを行うとともに、新聞づくりの構想（どんな記事を書くか・レイアウトなど）を考える。紙に新聞に載せる項目を書き自分なりの新聞のまとめを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>調査結果を人にわかりやすく伝えるためには、どのようにまとめればよいのだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のテーマの調査結果を新聞にまとめることを考えさせる。</li> <li>B - b</li> <li>C - c</li> <li>C - e</li> </ul>
9 本時	<p>○班内で各自の新聞の下書きを見せながら、内容を発表し合い、班員からアドバイスを受ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>調査結果を人にわかりやすく伝えるために、さらに良いまとめ方はあるのだろうか。</p> </div> <p>○各班で一人、自分の新聞の下書きをもとに、まとめの方針と、受けたアドバイスを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班内で自分の新聞の下書きをもとにまとめ方を発表させ、アドバイスを受けさせる。</li> <li>・各班で一人新聞の下書きをもとに、新聞のまとめ方とアドバイスを発表させる。</li> <li>A - d</li> </ul>
10	<p>○新聞を清書し、完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受けたアドバイスを生かしながら、新聞を完成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞を仕上がるようにさせる。</li> <li>C - c</li> </ul>
11	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分の課題を調べた結果が良くわかるか</p> </div> <p>○班内で、発表者を決め、各班の代表者がクラスで発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各班から一人ずつ発表させ、それについて意見を言わせる。</li> <li>A - a</li> <li>C - d</li> </ul>

(5) 本時の活動

①主眼

統計資料や二万五千分の一の地図、野外調査により、小布施町は果樹（りんご・ブドウ・栗）栽培が盛んで、葛飾北斎と栗菓子により、観光客が多いと知った生徒たちが、調査結果をふまえて、各自が「小布施町の魅力」を伝える新聞の下書きをし、それについて班員のアドバイスを受けることを通して、小布施町の特徴を紹介するよりよい新聞を作る参考にすることができる。

本時の位置（全11時間扱い中の第9時）

前時 調査結果の新聞へのまとめの仕方を自分で考え、自分の下書きを考える。

本時

次時 調査結果の新聞の清書を行う。

②展開

学習活動	予想される生徒の反応	指導・助言・資料・評価	時間
<ul style="list-style-type: none"> <li>・この時間は、調査活動の自分の考えた新聞の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のまとめをよりよく行うために、班員か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時は何を学ぶのか問う</li> </ul>	3分



		<p>わかるような見出しが良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や絵も2・3個入れた方が良い。</li> <li>・調査結果をグラフにしたほうがわかりやすい。</li> </ul>	
	<p>○2・3人の生徒が自分の課題・自分の予想・調査結果・小布施町の魅力・新聞のでき、班内で受けたアドバイスを発表する。 (各自、発表2分、質疑とアドバイス2分)</p> <p>新聞の下書きを実物投影機に投影しながら発表する。</p>	<p>自分の新聞の下書きと比較して、清書の参考にするだろう。</p>	10分
まとめ	<p>○受けた助言(アドバイス)の内容と自分は清書でそれをどう生かしたいかを学習カードに書く。</p> <p>・次時は自分の新聞を完成させることを知る。</p>		7分

### ③評価

(6) 児童生徒の様子から

5班のうちのある班の授業記録より

T: 班員の発表を、評価カードに評価と助言を記入しながら聞き、発表者が発表し終わったら、発表者に渡してください。

S1 (司会者): S2君から

S2: 小布施のぶどう栽培についての新聞の下書きを見せながら発表する。

S1: アドバイスのある人

S3: わかりやすかった。字が大きいからもう少し小さくした方が良い。

S4: 絵や写真を入れるとわかりやすい。

S5: わかりやすくまとめている。

S1: グラフが雑なので、もっときれいに書くと良い。

S6: 字の間隔をあけて書くと良い。

S5: 小布施の栗栽培についての新聞の下書きを見せながら発表する。

S1: 字がていねい。自分の言いたいことをまとめている。

S6: グラフが見やすい。

S2: 見出しや内容が良い。

S3: グラフが見やすい。

S4: 字も丁寧で絵や写真を貼るところをこうしてあけてある。

S6: 小布施のブドウ栽培についての新聞の下書きを発表する。

ぶどう農家島田さんの家で聞き取りをした。

いつ頃どんな作業をするのかを中心に書いた。

とったぶどうを1℃で冷蔵庫に保存している。

S4: 見出しが工夫されていた。グラフを入れると良い。

S1: 自分の伝えたい事が伝わってきて、いい新聞だった。

S3: 小布施のリンゴ栽培についての新聞の下書きを発表する。

平成16年に収穫量が減少したのは、台風の影響

S4: 写真や絵を入れると良い。

S5: 見出しがカラーで良い。グラフや絵を入れると良い。見出しが大きくて良い。

S4: 小布施の栗の栽培についての新聞の下書きを発表する。

桜井甘精堂での聞き取り

小布施は栗の原産地

栗あんの作り方、栗鹿の子について

今と昔の製造法の違いについて質問した。

持田農園での聞き取り

栗作りで大変なことは栗を拾うこと(1本の木に300~400個の栗、それが10アール)

なぜ栗作りをするのか 昔から作っている。松川の酸性水が適している。

S5: 絵をばらばらに配置すると良い。よくまとまっていて読みやすい。見出しが大きくて良い。いろいろな絵や写真を使って良かった。

T: 他の班が終わったので S1 さんには、全体で発表してもらいます。

S1: 小布施の栗の栽培についての新聞の下書きを発表する。

桜井甘精堂・持田農園での聞き取り

S6: 字がきれいで良い。

T: 全体に発表してもらったので、他の班の人にも聞いてみます。

S7: 字が丁寧で、取材したことがしっかり書いてある。

T: 内容と形式どちらでもいいです。自分のものと比較して出してください。

S8: グラフの大きさ、声の大きさも良い。発表の声が大きかった。

T: 自分が受けた新聞の下書きの助言で、これから清書に生かしたいことをプリントとノートに書こう。

- ・生徒は、小布施町にふさわしい課題を設定していた。
- ・聞き取り調査がまとめて生きていた。
- ・班内で学びあいが成立していた。
- ・小布施の魅力と課題について、新聞の清書でかなり深く追究できた生徒が多かった。

例 1 A 子の新聞「観光客が小布施に来る理由」の一部より

小布施の魅力はきれいな町並み・岩松院・北斎館  
北斎館とフローラルガーデン（小布施全体）は観光客が減っています。もっとアピールして、観光客を増やした方がいいと思いました。  
小布施町は、栗やりんごなどおいしい食べ物がいっぱいあるし、美術館など観光スポットとか町全体がとても素晴らしいです。町の人もいい人ばかりだし、歴史を感じるいい町です。

例 2 B 子の新聞「観光新聞」の一部より

私が調べた中で、分かった小布施の特徴は、栗菓子がとても有名であることと、他の市町村よりも歴史が深いということです。当たり前かもしれないけど、今回、とても深く実感しました。何気ない風景の中に隠れている歴史がたくさんあるという事を知りました。土壁や、岩松院の鳳凰図などが観光客をひきつける歴史なんだと思いました。

例 3 C 子の新聞「栗新聞」の一部より

栗について調べたいって思った理由は、昔から小布施は栗が有名っていうけど、何で有名なんだろう？って思ったから。小学校の頃からの疑問だった。・・・中略・・・小布施の栗は、他の地域にくらべてすごく大きい。その理由は、水やりなどの手入れをしっかりやるとあんなに大きく育つんだって。苦労すればするほど、大きくておいしい栗が収穫できるんだね。そして私の疑問、なんで小布施は栗が有名なのか？と聞いてみた。その結果は・・・栗を育てるには、酸性の水がいいらしい。酸性と言えば・・・？松川！！小布施には松川が流れている。そのため、栗を作る気候に適している。やっと私の疑問が解けた。

例 4 D 子の新聞「小布施の栗新聞」の一部より

小布施町と比べると、あつとうてきに茨城県（かすみがうら市）の方が多いが、全国的に、小布施の栗が有名なのがわかる。だが、小布施と須坂を比べると、小布施の方が、やはり多くの栗を生産していることがわかります。

- (7) この授業を通じて授業者が学んだこと
- ・新聞記事を資料として使うことの有効性を再認識できた。
  - ・生徒達が調べた事を新聞にまとめさせて、感動を伝えることは非常に有効だということがわかった。

## 6 研究のまとめ

全校研究テーマ「学ぶための力をつけるための道筋～互恵的な学びを促す表現活動のあり方～」について、今回の研究授業でグループ活動を取り入れ、新聞の下書きを発表させたことは生徒の学び合いが成立していたということで、互恵的な学びを促す表現活動につながった。また、社会科の研究テーマ「自らの疑問に基づいて課題を設定し解決する力を育むための社会科指導のありかた」について、自分の課題を決め、調査活動を行わせたことは自らの疑問を設定し、解決する力につながった。

## 7 残された課題

- ・教師が新聞の形式にとらわれてしまったので、生徒に調べた事をもっと自由に書かせればよかった。（感動した事をそのまま書かせれば良かった。）
- ・調査活動の後、すぐにまとめに入らず、調査活動の考察・判断をし、さらなる課題を出させて追究させることが必要だった。
- ・グループの話し合いだけでなく、全体追究も必要。
- ・座席ごとの班にしたが、同じテーマを調査した生徒でグループを作り、評価・助言させた方が良かったのではないか。
- ・班での評価・助言は、新聞の形式（絵を入れた方が良い、グラフを入れた方が良いなど）に関心が行き、中身（小布施町はなぜリンゴ栽培が盛んなのか、どのようにリンゴを作っているのか、なぜ栗の栽培が盛んなのかなど）に関する助言に関心が行かなかった。



